

平成20年度全国学力・学習状況調査について

H20.8.29 秋田県教育委員会

1 調査結果について

◆概観

- ・今年度の調査結果は、ほぼ昨年度と同様の調査結果でした。このたびの結果については、昨年度も申し上げたとおり、学校教育を中心としながら、家庭や地域の教育力、県内大学の協力などの成果によるものであり、児童生徒の頑張りはもちろんのこと、各学校や教育委員会等において確かな学力を身に付けさせる教育活動や施策、教育環境の整備等が効果的に行われていることの証しであると考えております。本県の義務教育が力強く推進できているものとの認識を深めた次第です。ただし、各問題ごと、各学校ごとなど、個別に見ていくと、いくつか課題があると思われます。今後、質問紙調査等も含めて詳細に結果を分析し、各市町村教育委員会とも連携しながら、よさは一層伸ばし、課題に対しては手立てを講じるなどして、各学校の指導の充実、児童生徒の学力向上が一層図られるよう取り組んでいきたいと考えております。

◆教科に関する調査の結果

①概要

- ・今年度の結果は、全国の平均正答率を小・中学校とも各教科で昨年度以上に上回る結果となり、本県の小学校6年生と中学校3年生の国語、算数・数学の学習状況は、昨年度に引き続き、おおむね満足できる状況にあると判断しております。今年度の調査問題は難易度がやや高く、昨年度に比べると各教科で全国の平均正答率が低くなりました。本県も平均正答率そのものは同様に下がりましたが、全国の平均正答率を上回るポイントは各教科で昨年度以上となったことで、日々の児童生徒、各学校の学習活動や指導の充実ぶりが実感できる結果となりました。ただし、昨年度と同様、知識・技能等の「活用」に係る問題に着目すると、小・中学校ともに今後一層力を付けていく必要があると考えております。

②全国の平均正答率との差（カッコは平成19年度）

教科	小学校6年生	中学校3年生
国語 A（知識）	+ 9. 0 ^{ポイント} (+4. 4)	+ 5. 0 (+3. 8)
国語 B（活用）	+ 12. 4 (+7. 0)	+ 6. 0 (+5. 0)
算数・数学A（知識）	+ 8. 5 (+6. 3)	+ 7. 0 (+5. 6)
算数・数学B（活用）	+ 7. 3 (+5. 0)	+ 5. 5 (+4. 7)

◆児童生徒質問紙調査の結果

①概要

- ・全国の状況と比較した場合、昨年度に引き続き、本県の小学校6年生と中学校3年生の学習意欲や生活習慣は、いくつかの課題は見られるものの、全体としては望ましい傾向が見られます。

②全国の平均値との差（「している」「どちらかといえばしている」の合計）

上回っている主な項目	小学校6年生	中学校3年生
家で学校の授業の復習をしていますか。	^{ポイント} + 36. 3	+ 27. 5
自分で計画を立てて勉強していますか。	+ 12. 2	+ 7. 5
テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか。	+ 14. 7	+ 12. 9
普段（月～金曜日）、何時ごろに起きますか。	（7時より前に起きる） + 15. 3	（7時より前に起きる） + 18. 0
普段（月～金曜日）、何時ごろに寝ますか。	（10時より前に寝る） + 9. 5	（11時より前に寝る） + 8. 9
家の人と普段、朝食を一緒に食べていますか。	+ 6. 4	+ 12. 3

携帯電話で通話やメールをしていますか。	(ほとんどしていない、持っていない) + 13. 4	(ほとんどしていない、持っていない) + 14. 6
「総合的な学習の時間」の授業では、新しいことを発見できると思いますか。	+ 8. 9	+ 17. 1
今住んでいる地域の行事に参加していますか。	+ 15. 7	+ 8. 1
今住んでいる地域の歴史や自然について関心がありますか。	+ 9. 6	+ 8. 4
国語の授業で、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。	+ 11. 7	+ 17. 6
算数(数学)の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。	+ 8. 8	+ 6. 6

下回っている主な項目	小学校6年生	中学校3年生
家で食事をするときは、テレビを見ないようにしていますか。	— 5. 3 <small>ポイント</small>	— 3. 2
家の手伝いをしていますか。	— 3. 7	— 4. 3

◆学校質問紙調査の結果

①概要

- ・全国の状況と比較した場合、放課後や長期休業中の補充的な学習の支援、補充的な学習や発展的な学習など実態に応じたきめ細かな指導、実生活との関連を図った指導、開かれた学校づくりなどにおいて各学校の積極的な取り組みがうかがえる結果となっております。

また、各学校においては、昨年度の全国学力・学習状況調査の結果等を学校全体や授業などで生かすなど、積極的に活用をしていることが分かりました。

②全国の平均値との差（「よく行った」「どちらかといえばよく行った」の合計）

上回っている主な項目	小学校6年生	中学校3年生
放課後を利用した補充的な学習サポートを実施していますか。	（「はい」の割合） ポイント + 19. 3	（「はい」の割合） + 27. 6
長期休業期間を利用した補充的な学習サポートを実施していますか。	（「はい」の割合） + 12. 0	（「はい」の割合） + 14. 7
国語の指導として、補充的な学習を行いましたか。	+ 11. 6	+ 11. 9
国語の指導として、発展的な学習を行いましたか。	+ 0. 7	+ 8. 9
算数（数学）の指導として、補充的な学習を行いましたか。	+ 11. 8	+ 9. 0
算数（数学）の指導として、発展的な学習を行いましたか。	+ 12. 5	+ 12. 0
算数（数学）の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか。	+ 14. 5	+ 14. 6
H19全国学力・学習状況調査の自校の結果を学校全体で活用しましたか。	（「はい」の割合） + 16. 5	（「はい」の割合） + 18. 0
H19全国学力・学習状況調査の調査問題を授業の中で活用しましたか。	（「はい」の割合） + 43. 0	（「はい」の割合） + 44. 9
地域の人が自由に授業参観などができる学校公開日を設定していますか。	（「はい」の割合） + 17. 7	（「はい」の割合） + 21. 6

2 県教育委員会の取り組みについて（●は新規）

◆少人数学習推進事業（少人数学級、少人数授業）（H13～）

※子どもの個性を生かし、子どもの多様性に応える教育活動を展開する。

- ・ 少人数学級（小学校1・2年、中1年）
- ・ 少人数授業（小学校3・4・5・6年、中2・3年）

◆学習状況調査 (H14～)

※少人数学習推進事業等の成果と課題を把握し、各学校の授業改善及び県教育委員会の教育施策の改善に生かす。

- ・毎年悉皆で調査(対象:小4～中3) * H20は小4～中2
- ・調査結果を分析して報告書にまとめ、学校に配布し、授業改善に活用

◆算数・数学学力向上推進事業 (H17～)

※日常の授業改善についての具体的な指導・助言や評価問題の作成を行い、「分かる」「できる」授業を実現し、基礎学力の向上を目指す。

- ・算数・数学学力向上推進班の設置(義務教育課内)
- ・単元評価問題の配信(小・中学校全学年分)
- 「わか杉思考コンテスト」の実施(H20～)

◆教育専門監の配置 (H17～、義務教育課はH18～)

※教科指導に卓越した力を有する教諭を市町村に配置し、複数の学校で活用し、学校の教育力を高める。

- ・H18 4市町村4名(国、算・数、英)
- ・H19 7市町村8名(国、算・数、理、社、)
- ・H20 13市町村15名(国、算・数、理、社、英)

◆学校教育の活性化に係るアンケート (H10～H19)

※学校教育に関する保護者の声を教育施策及び学校運営の改善に生かす。

- ・H10 中学校の保護者を対象に実施(抽出調査)
- ・H11 小学校の保護者を対象に実施(抽出調査)
- ・中学校→小学校→高校・特別支援学校の順で継続実施

◆科学する心を育む夢プラン事業 (H12～)

※直接体験を通して子どもたちの科学的な見方や考え方を高め、主体的に問題解決する資質や能力を育成する。

- ・サイエンスキャンプ(小・中学生80名)
- ・おもしろ理数教室(年間10回、土・日・夏休み)

◆「英語とコンピュータが使える秋田の子ども」育成事業（H16～）

※中学校卒業までに英検3級程度、高等学校卒業までに英検準2級～2級程度の実践的な英語力を育成する。

- ・英語コミュニケーション推進班の設置（高校教育課内H16～18）
- ・英語能力判定テストの実施（中2～高2）

※中学校を卒業するまでにコンピュータや情報通信ネットワークを学習に活用できる程度、高等学校卒業までに、職場や進学先で活用できる程度の技能を育成する。

- ・情報学習支援事業（支援員の派遣、H13～H16）

◆学校・大学パートナーシップ事業（H17～19）

※秋田大学の教員や大学生の支援により、児童生徒の学習意欲の喚起と学習機会の拡充を図る。

- ・大学生学習チューター（放課後や長期休業中の学習相談の支援）
- ・大学グループ出前授業（専門性を生かした、魅力ある授業の提示）
- ・学校まるごとパワーアップモデル校（大学教員の指導助言を生かした学校経営改善）

●夢創造！！チャレンジ推進事業（H20～）

- ・大学生学習チューター、大学グループ出前授業（上記事業の継続）
- ・学力向上推進カウンセラー（大学教員を派遣し、研修会や授業研究会等の実施）
- ・地域学習教室（土・日や祝日などに、教員免許状のある地域人材等を活用し、地域学習教室を設置）

●読解力向上のための指針の作成（H20～）

- ・「読解力を身に付けた秋田の子どもの育成を目指して」の作成

●「秋田わか杉っ子 学びの十か条」(H20～)

- ・H19調査の児童生徒質問紙調査結果等に表れた本県の児童生徒の学びのよさを十か条としてまとめ、そのアピールと定着を図る。

3 結果の活用について

- ・ 県教育委員会では、今年度も「検証改善委員会」を設置し、結果の詳細な分析、昨年度の結果との比較などを行い、本県の成果と課題、学校等への提言などをリーフレット等にまとめ、学校等へ情報提供する予定です。また、児童生徒が自分の学習状況を明確に把握して、より一層学習に進んで取り組めるよう、全国学力・学習状況調査結果個人票が作成できるプログラムを開発し、各学校に提供しますので、活用をお願いします。
- ・ 調査結果の公表については、昨年度も申し上げたことではありますが、時間の経過とともに、各市町村や学校の状況は何らかの形で知れ渡ることになる可能性があります。また、調査結果で測定できるのは、学力の特定の一部分であり、さらに、測定値は固定されたものでなく、今後の指導や取り組みによって大きく変化し得るものであります。
したがって、逆説的にはなりますが、数値が一人歩きし、学校の序列化や過度な競争の弊害を少なくするためにも、子どもたちの学力等の現状と課題を、保護者や地域と共有し、一刻も早く改善に向けた実行に踏み出すべきであると考えています。
校長は、教職員や保護者、学校評議員等に、自校の状況について、結果数値等を説明し、到達していると判断できる領域については一層の充実・伸長を図るとともに、不足していると判断できる領域については、保護者や地域とも課題を共有し、速やかに指導方法の改善に取り組む必要があると思っております。
- ・ 県教育委員会と各市町村教育委員会は、連携を密にしながら、調査結果を検証し、課題を明確にし、地域や学校に対する必要な支援をできるところから行っていきます。長期的視点と短期的視点とを併せ持ちながら、今後も学習環境の改善等に努めてまいりたいと考えております。
- ・ 学力向上の基盤づくりの要として、昨年度末に作成した「秋田わか杉っ子 学びの十か条」を教育庁各課をあげて全県下にPRし、学校・家庭・地域が一体となった「チーム秋田」としての教育力を一層向上させてまいりたいと考えております。



Let's Challenge!!

楽しもう・挑戦しよう!!

わか杉思考コンテスト

難問に挑戦したい人、自分の力を試したい人 全員集合

この秋、思考力を試すコンテストを開催します。県内の小・中学生であれば誰でも参加OK。参加費は無料です。みなさん、奮って応募してください。

会場一覧

鹿角市立花輪第一中学校
 大館市立東中学校
 能代市立能代第二中学校
 男鹿市立野石小学校
 湯上市立大久保小学校
 県立秋田明德館高等学校
 由利本荘市立鶴舞小学校
 大仙市立大曲中学校
 横手市浅舞公民館
 湯沢市立湯沢西小学校

期日は11月8日(土)!!

- 1 時 間 午前9:30~11:30
 - 2 対 象 小学校5・6年生(小4以下も可) 中学生
 - 3 問 題 算数・数学を中心とした思考力や創造力を試す内容。問題数は5~6題。
 - 4 表 彰 最優秀賞、優秀賞
- *申し込みは、学校ごとにとりまとめます。



こんな問題が出ます

小学校

【例1】

例のように数字の間に+、-、×、÷のどれかの計算記号を入れて、その答えが62になるようにしなさい。

例 $9 \times 7 - 5 + 3 + 1 = 62$

① $1 \quad 2 \quad 3 \quad 4 \quad 5 = 62$

② $6 \quad 7 \quad 8 \quad 9 \quad 0 = 62$

ヒント $0 \times \square = 0$ を利用しよう

【例2】

次のかけ算がなりたつように、A、B、C、Dに数字(0,1,2,...,9)を入れなさい。

$$\begin{array}{r}
 \text{A} \text{ B} \text{ D} \\
 \times \quad \quad \text{A} \\
 \hline
 \text{C} \text{ C} \text{ C} \text{ D}
 \end{array}$$

中学校

【例1】

50人の生徒が、Q1~Q4の4つの問いからなる理科のテストを受けました。その結果、各問いを正解した人数は、次の表のようになりました。また、結果をくわしくしらべてみると次の①~⑤の条件がわかりました。次の問い1、問い2に答えなさい。

(ただし1問を25点とします)

問い	Q1	Q2	Q3	Q4
正解者数	36人	28人	22人	5人

条件

- ① Q4を正解した生徒は他の3題とも正解でした。
- ② Q2だけ正解した人数は4人でした。
- ③ Q3だけ正解した人数は6人でした。
- ④ Q1とQ3の2題だけ正解した人は7人でした。
- ⑤ Q4以外のQ1、Q2、Q3の3題を正解した生徒は4人でした。

問い1 50点をとった生徒は何人ですか。

問い2 0点をとった生徒は何人ですか。

----- き り と り せ ん -----

わか杉思考コンテスト申込書

ふりがな

学 年 _____ 年

氏 名 _____

保護者氏名 _____

印

◆◆読解力を身に付けた秋田の子どもの育成を目指して◆◆

一学校や家庭、県・市町村が連携し、学校段階に応じて、児童生徒の読解力の向上を図る！一

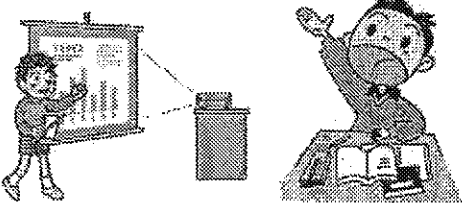
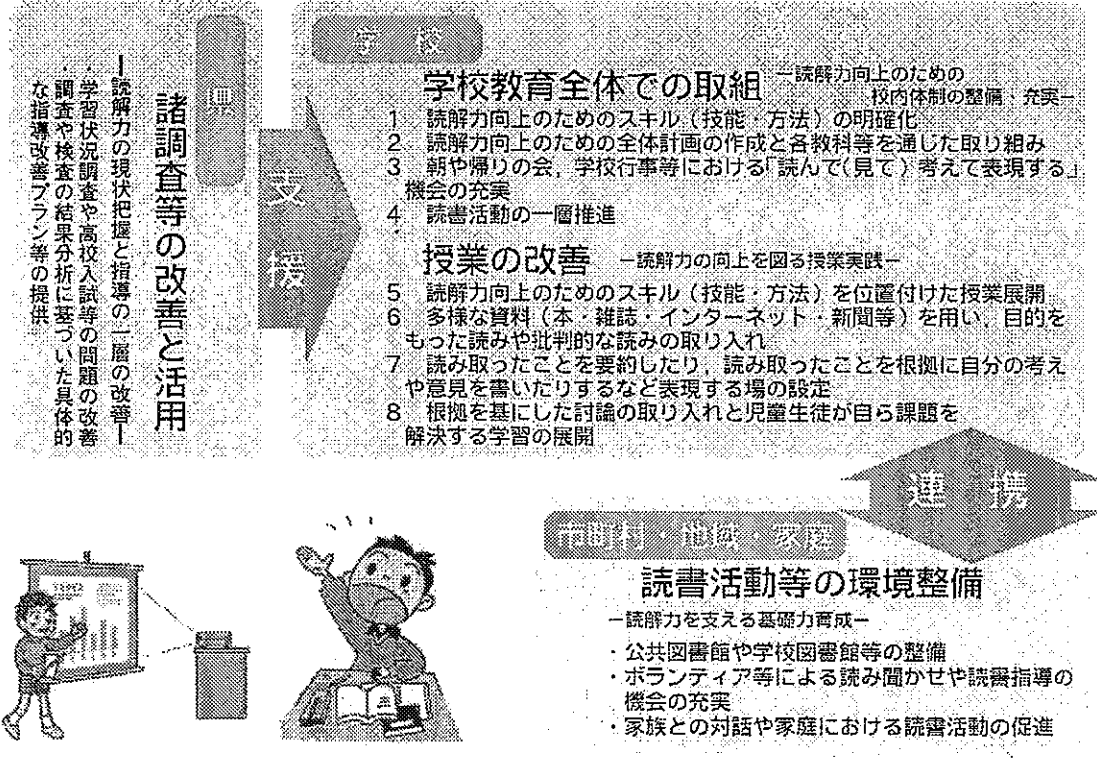
目 標

- ・中学校卒業段階まで、生活や学習において、問題を明確に把握し、よく考え表現し、問題解決することができるようにする。
- ・高等学校卒業段階まで、実生活において、諸問題に目標をもって取り組み、社会に効果的に参加することができるようにする。

■読解力を身に付けた児童生徒の具体的な姿

●幼稚園・保育所等	●小学校	●中学校	●高等学校
人の話を注意して聞き取りに力をつけることができる	人の話、文章や資料の意味を理解できる 考え、表現することに積極的に取り組むことができる	目的に応じて文章や資料を積極的に考えや表現できる	目的に応じて、文章や資料を基に自分の意見を表現を工夫し、的確に伝えることができる

読解力向上のための四つの柱（取り組みの重点）



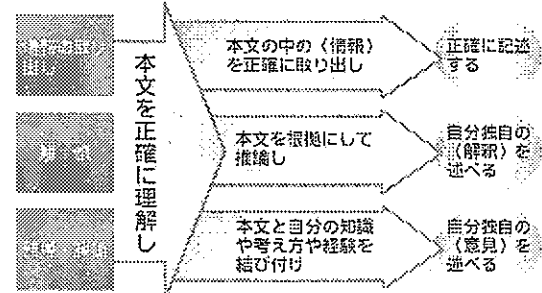
読解力の概要

●PISA型「読解力」とは・・・

自らの目標を達成し、自らの知識と可能性を発達させ効果的に社会参加するために、書かれた文章や資料を理解し、利用し、熟考する能力
〔文章や資料から「情報を取り出す」ことに加えて、「解釈」「熟考」「評価」「論述」することを含む〕

※「考える力」を中心として、「読む力」「書く力」を総合的に高めていくことが重要
※読解力は生活や学習で活用する力として身に付けさせることが大事

●読解の具体的なプロセスとは・・・



平成20年度 全国学力・学習状況調査
調査結果 個人票

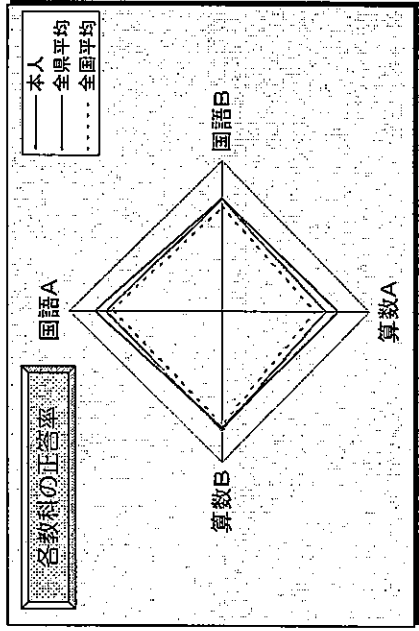
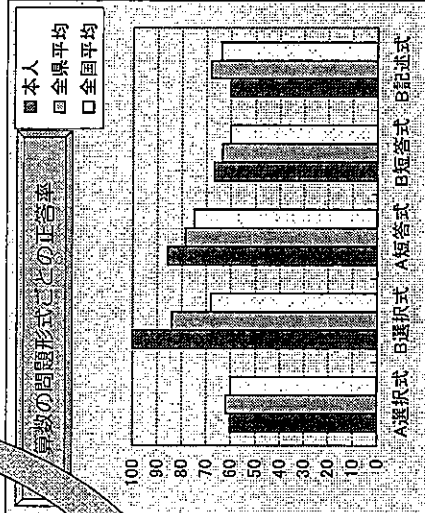
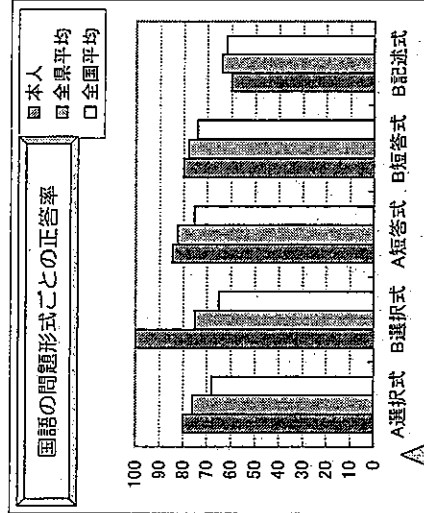
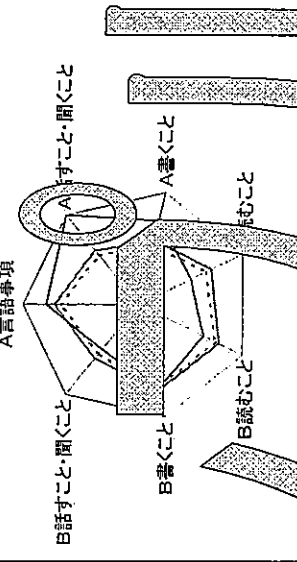
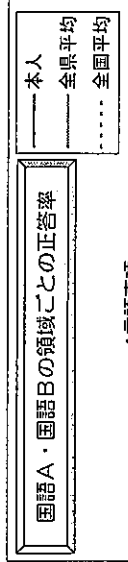
秋田県 立 小学校 6年 氏名

国語A	問題数	学習指導要領の領域				合計	問題形式	
		話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項		選択式	記述式
本人	18	2	4	2	15	5	13	
全県平均	15	2	3	1	12	4	11	
全国平均	13.7	1.2	2.3	1.4	10.9	3.8	10.7	
正答数	12.9	1.1	2.1	1.3	10.2	3.4	9.8	

国語B	問題数	学習指導要領の領域				合計	問題形式	
		話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項		選択式	記述式
本人	12	2	8	0	10	5	14	
全県平均	9	1	6	0	7	3	12	
全国平均	8.9	1.2	6.1	6.2	3.9	3.7	3.2	
正答数	8.3	1.1	6.0	5.9	3.7	3.1	3.1	

算数A	問題数	学習指導要領の領域				合計	問題形式	
		数と計算	量と測定	図形	数量関係		選択式	記述式
本人	19	10	3	3	16	5	14	
全県平均	15	8	2	2	12	3	12	
全国平均	13.4	7.6	2.1	1.9	11.0	3.1	10.5	
正答数	12.1	7.0	2.1	1.7	10.5	3.0	10.5	

算数B	問題数	学習指導要領の領域				合計	問題形式	
		数と計算	量と測定	図形	数量関係		選択式	記述式
本人	13	3	3	4	10	5	5	
全県平均	10	2	2	3	7	3	5	
全国平均	10.3	2.0	1.8	2.7	6.5	4.2	3.4	
正答数	9.7	1.7	1.5	2.3	5.5	3.4	3.2	



個人票の見方

国語、算数とも、Aは主として「知識」に関する問題、Bは主として「活用」に関する問題です。

表は、各教科の問題数とそでの本人の正答数、および県全体の正答数の平均と全国の正答数の平均です。

また、学習指導要領の領域で分類した問題と、形式で分類した問題に対する正答数も示されています。

(学習指導要領の領域の2つにまたがる問題もあります)

正答数が全県平均を上回っているものは、○印がついています。

グラフはすべて問題数に対する正答数の割合をもとに作成されています。

☆自分のよい点や課題をまとめよう!!

秋田わか杉っ子 学びの十か条

- | | | |
|---|------------------|----------------------|
| 一 | 早ね早おき朝ごはんに家庭学習 | 規則正しい生活がスタートライン |
| 一 | 学校の話で弾む一家団らん | 笑いが脳を活性化 |
| 一 | 読書で拓く心と世界 | めくるページ、広がる想像力 |
| 一 | 話して書いて伝え合う国語 | 国語力は学びの基本 |
| 一 | 難問・難題にも挑戦する算数・数学 | あきらめずやりきることによって能力アップ |
| 一 | 新発見の連続、広がる総合 | 総合の時間は脳のビタミン |
| 一 | 決まり、ルールは守ってあたりまえ | 落ち着いた教室で高まる集中力 |
| 一 | いつも気をつけている言葉遣い | 相手意識で磨く活用力 |
| 一 | 説明は筋道立てて伝わるように | 整理する工夫が脳のトレーニング |
| 一 | 学んだことは生活で学校ですぐ活用 | 活用できて本当の生きる力 |

平成20年3月

秋田県教育委員会